

# 南幌町地域公共交通活性化協議会 平成22年3月8日設置



## 概要

南幌町は、町内を巡回しているコミュニティバスが公共交通の中心であるが、人口の減少や自家用車の普及によりコミュニティバスの利用者は年々減少しており、バス運行経費を負担している町の財政を圧迫し、費用対効果も非常に低いこともあって、平成22年度は見直しのうえ継続、平成23年度以降は廃止か新たな方式による運行かを含めて検討する」というプランが決定され、緊急に新たな運行形態等の検討が必要な状況となっている。このため、コミュニティバスの運行形態見直し、路線バスとの接続改善や農協、商工会、病院等と連携したバスの利用促進等、地域活性化にもつながる公共交通のあり方について、調査検討を実施する。

### 地域公共交通の現況

- ・コミュニティバス (町内巡回 2コース)
- ・ジェイ・アール北海道バス (株) (町内経由 2路線)
- ・夕張鉄道 (株) (町内経由 1路線)
- ・北海道中央バス (株) (町内経由都市間 1路線)

### 地域公共交通の課題

- ・マイカーへの依存度が高く、コミュニティバスの利用が低調
- ・コミュニティバス、路線バスの利便性向上

### 調査の主な内容

- ・現況交通実態調査
- ・利用者ニーズ把握調査 (アンケート調査)

### 策定する地域公共交通総合連携計画の構想 (予定)

- ・コミュニティバス運行形態の見直し
- ・コミュニティバスと路線バスの接続改善
- ・デマンド型交通の導入



# 南幌町地域公共交通活性化協議会 調査事業の取組状況

## 主な調査の実施内容

協議会開催状況

5回開催

分科会等開催状況

-

開催状況は平成22年度中のもの(開催予定を含む)

### 現況交通実態調査

- 各種統計資料により人口、世帯、年齢の調査及びバスの運行状況の把握を目的とした調査を実施 (H22.8月～11月)
- 巡回バス利用者データを基に利用者の乗降場所や利用者数の把握を目的とした調査 (H22.9月)及び巡回バス利用者を対象に、利用頻度や利用目的の把握を目的としたヒアリング調査を実施 (H22.10.18・22・25・29)

### 利用者ニーズ把握調査(アンケート調査)

- バス・タクシー事業者を対象に、利用状況の把握等を目的としたヒアリング調査を実施 (H22.8月～11月)
- 町内在住16歳以上の町民全員(7,673人)を対象に、バス利用経験・利用頻度、利用交通手段や公共交通の満足度、ニーズの把握を目的としたアンケート調査を実施 (H22.11.2～11.12 回収率約26%)

## 予定している主な連携計画の内容

### デマンド交通の導入(実施主体:南幌町、交通事業者、実施時期:H23～)

- 町内を巡回するバスについては、利便性向上のため、デマンド交通方式へ転換(H24の本格運行に向け、H23に実証運行を実施)

### 利用促進に向けた取組の実施(実施主体:南幌町、北海道中央バス(株)、ジェイ・アール北海道(株)、夕張鉄道(株)、実施時期:H23～)

- クルマに過度に依存しない町民意識の形成を図るため、ニュースレターの発行、民間路線バスの路線・ダイヤ情報を一体化した公共交通マップの作成、学校を対象とした環境や交通に関する授業を実施

## 自己評価のポイント

事業者ヒアリング、アンケート調査等により必要な調査を行うとともに、法定協議会において合意形成を図っている。

## 二次評価の方向

次に掲げる点についてアドバイスする。  
・デマンド交通の導入に当たっては、運行委託先となる交通事業者との合意形成に努めるとともに、既存の路線バスとの役割分担や乗継ぎ円滑化にも留意しつつ、更に具体的なサービス内容について検討されたい。